

団体代表者各位

特定非営利活動法人日本水中スポーツ連盟
大会実行委員長 堀内 直

日本選手権大会最終ご案内

前略

日本選手権大会の最終のご案内を致します。

団体・参加選手、観客、競技役員で参加される全ての方に連絡を御願いたします。

草々

<タイムスケジュール>

10日(土) 8:00	競技役員(主任以上)、受付・会場係集合 メインプール協会議室(1階一般入口より入り左側奥) 会場設営
8:30	競技役員集合 メインプール協会議室(競技役員控え室)
8:40	選手入場 メインプール観客席入口(3階入口) ウォーミングアップ
9:30	監督者会議(各団体より1名参加)
9:40	ウォーミングアップ終了
10:00	開会式
10:30	競技開始
11日(日) 8:10	競技役員(主任以上)、受付・会場係集合
8:40	選手入場
8:40	ウォーミングアップ
8:50	競技役員集合
9:30	ウォーミングアップ終了
9:50	競技開始

<連絡事項>

- ① 競技役員の方(別紙記載)は、両日ともメインプール協会議室(競技役員控え室)に集合してください。
また、紺色か黒色のズボン又は短パン、上履き(靴の裏が白いもの)、印鑑、タオル、筆記用具を持参してください。
審判シャツと昼食は例年通り連盟で用意します。審判黒色・白色ポロシャツをお持ちの方は持参してください。
- ② 貴重品等は自己管理をお願いします。このところ盗難事件が頻発しています。
必要な場合、団体代表にロッカーキーを貸与致します。保証金5,000円と交換となります。お帰りの際、ロッカーキーを返却いただくと保証金は返金いたします。返金は当日のみとします。
返却頂けないと次回プール借受が出来なくなりますので、必ず大会当日(1日毎)にご返却願います。(後日返金は不可)

- ③ プールサイドは、役員以外は原則としてすべて裸足です。選手はサンダルも含め一切禁止となっております
- ④ ビデオ・カメラ（携帯電話等含む）による撮影には申請が必要です。受付にて撮影許可申請を行ってください。（撮影許可証（腕章）をお渡ししますが、保証金 1,000 円と交換となります。腕章返却の際、保証金は返金致します。返金は当日のみです。）
撮影許可証は必ず見えるところに着用して下さい。撮影許可証を持たずに撮影されている方を発見した場合は、その場で全てのデータを削除していただきます。
また、スタンドのコンセントから家庭用ビデオ、携帯電話等への充電はお断りしております。
- ⑤ モノフィンの公認について、公認シールに関するご質問は、大会本部（総務）までお問い合わせ下さい。
- ⑥ 大会役員・競技役員用駐車場を確保しました。費用は1,200 円／日です。
駐車場開場は 7:30 です。台数に限りがございますので予定数オーバーの場合はご了承ください。
- ⑦ プールまでの交通は、横浜市営地下鉄北山田駅で下車し、徒歩 5 分です。
是非、地下鉄をご利用下さい。
<http://www.waterarena.jp/access>
横浜市営地下鉄センター北駅より、プールまでのバスもあります。

競技運営に関する諸注意

- ① 本大会は、2014 年度世界水中連盟競技規則およびフィンスイミング大会実施基準を適用し、本大会申し合わせ事項・選手注意事項に基づき実施します。
- ② 種目の追加、変更は受け付けませんが、大会実行委員側のミスによる氏名、年齢区分、エントリー違い等の訂正がありましたら、所定のプログラム訂正用紙に記入の上、招集所へご提出ください。
 - ※ レース終了後の変更は基本的に認められません。
 - ※ 氏名の漢字間違いも、賞状等への影響がありますので必ずお知らせ下さい。
- ③ 棄権は、所定の棄権届出用紙に記入し、レース開始30分前までに招集所に提出して下さい。なお、レース開始30分前までに棄権届出用紙を提出しなかった場合は、他の種目に出場できなくなる場合がありますのでご注意ください。また決勝進出者が棄権の届出を怠った場合は、罰則金の対象となりますのでご注意ください。
- ④ リレーのオーダー用紙は、400mビーフィンリレーは、1日目、午前9時30分まで、400m、800mサーフィスリレーは、午後1時までに招集所に提出して下さい。
- ⑤ レースの前に、タンク、スノーケル、モノフィン、ビーフィン、CMASビーフィンの検査を器具監査室で受けて下さい。認定シールのないモノフィンについては、記録公認および保険の関係から、検査料4,000円が必要となります。
検査を受けていない器具を使用した場合は失格となります。
- ⑥ スタートは1回制です。フライングによるやり直しはありません。
- ⑦ 長距離種目における、途中距離の合図については、800mサーフィスは700mのターン時に、1500mサーフィス・ビーフィンは、1400mのターン時に、それぞれ水中にボードを入れて泳者にお知らせします。
- ⑧ ゴールの際は正確にタッチ板に触って下さい。タッチ板以外へのタッチは記録となりませんので、ご注意下さい。また、ジュニアの選手にはソフトタッチが多い傾向があります。この場合失格になることもありますのでご注意下さい。
- ⑨ 競技に関する抗議は、所定の抗議書の提出をもって受け付けます。
- ⑩ 競技順序に示された進行時間は目安ですので、実際の競技の進行状況を確認して、棄権のないようにご注意願います。なお、400mより長い種目で棄権が出た場合には、合同レースを行うこともありますのでご注意下さい。
- ⑪ 表彰は競技途中にも行う予定ですので、競技時間に掲載されている表彰時間を確認の上、表彰時に不在とならないようお願いします。
- ⑫ 施設使用制限条項により、フィンを履くためのソープは使用できません。
- ⑬ 同じく、プールサイドでの履き物について、選手はサンダルも含めいっさい禁止となっています。裸足でお願いします。
- ⑭ ビデオ・カメラによる撮影には申請が必要です。許可証をお持ちでない方は撮影できません。受付にて撮影許可申請をお願いします。（撮影許可証として、腕章を貸し出しますが、保証金1,000円と交換になります。腕章返却の際保証金は返金いたします。）
- ⑮ 貴重品、荷物は、各チームで管理してください。盗難・紛失の責任は負いかねます。
なお、必要な場合には、団体代表に、ロッカーキーを受付にて貸与致します。（但し保証金5,000円と交換し、ロッカーキーを返却されると保証金は返金いたします（返金は当日のみ）。返却いただけないとプールを借受できなくなりますので、よろしくお願いします。）
- ⑯ ゴミは必ず各自、各団体にてお持ち帰りをお願いします。

泳法及びCMAS ビーフインに関する規則

CMAS 国際競技規則について、以下を第 26 回フィンスイミング日本選手権大会より、日本国内
大会で適用することに決まりました。（太字下線部が追加されるルールとなります）

1. 泳法と15mルールについて

スタート及びターン後の潜泳について、CMAS(世界水中連盟)の国際競技規則を適用する。
具体的には、スタート及びターン後の潜泳は15mまでとする。

～参考：Finswimming CMASRules（抜粋）～

○サーフィス（SF）

- ・ 潜水は、スタートおよびターン後15m以内のみ可能である。泳者のスノーケルもしくは頭が15mラインを越えるまでに水面から出なければならない。（2.2.1.2.）
- ・ サーフィスは、すべての距離で、呼吸にはスノーケルを使用しなければならない。（2.2.1.4）

○ビーフィン（BF）

- ・ 泳法は、スノーケルを装着して、胸から上においてはクロールとする。（2.2.4.1.）
- ・ ドルフィン泳は、スタートおよびターン後15m以内の無呼吸時のみ認められる。（2.2.4.2.）
- ・ 潜水は、スタートおよびターン後15m以内のみ可能である。泳者のスノーケルもしくは頭が15mラインを越えるまでに水面から出なければならない。（2.2.4.3.）
- ・ スタート時、フィンスタートブロックの前方で、並行にそろえて構えなければならない。（2.2.4.4.）

■ 大会での適用について

- ・ サーフィス種目は、すべての距離でスノーケルを装着しないと失格となる。
- ・ サーフィスリレー種目においてビーフィン（FRP ビーフイン等）で泳ぐ場合も、サーフィスリレーではスノーケルを装着すること。
- ・ ビーフイン種目でのスノーケル装着は、CMAS ビーフイン種目のみに適用する。
CMAS ビーフイン種目（50m、100m、200m）では、スノーケルを装着しないと失格となる。
- ・ その他のビーフィン種目においては、スノーケルを装着していなくても失格にはならない。

2. CMAS ビーフィン規則について

2007年から、フィンスイミング世界選手権大会をはじめ、CMAS主催の国際大会にてビーフィン種目が正式に行われ、国際競技規則上、使用可能なビーフィンの基準が定められている。

今大会実施するCMAS ビーフィン種目は、当該競技規則を適用する。使用が認められたサイズの

ビーフィンを用意の上、出場のこと。

なお、その他のビーフィン種目（25m、50m、100m、400m、1500m、4×50mリレー）に

ついては、上記の規制はない。（FRP ビーフィン、ゴムビーフィン等、いずれの素材／サイズの

ビーフィンも使用可能）

～参考：Finswimming CMAS Rules（抜粋）～

○ ビーフィン競技で認められるフィンの基準

・ 市場で容易に入手できること。（2.3.2.2.a）

・ 最大寸法（2.3.2.2.b）

a. classical model（図①）

長さ670mm、巾225mm

b. diving model（図②）

長さ675mm、巾230mm

・ 材質は以下に限定する（2.3.2.2.c）

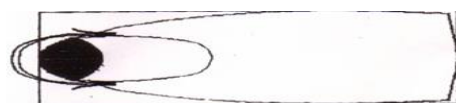
－P.P.（Polypropylene、ポリプロピレン）

－EVA（Ethylene-viyl acetate、エチレン酢酸ビニール）

〔図①〕



〔図②〕



■ 大会での適用について

- ・ CMAS ビーフィン種目に使用できるビーフィンについては、以上の規則を適用する。サイズと材質がルールに則ったものであれば、使用できる。
- ・ ただし、国際大会に参加する場合は、CMAS 公認ビーフィンの使用が必要である。

以 上